

所沢商工会議所 青年部
海外視察研修
ベトナム：ハノイ・香港 5 日間

報告書（旅日記 3）

視察先 THANG LONG METAL WARES 副社長と！



国際興業(株)トラベルサービス部
久米 陽

2007.07.05～09 青年部海外ミッション「ベトナム：ハノイ・香港」

今年で第3回目になる「青年部海外ミッション」。(所沢商工会議所青年部の看板では、3回目)。一昨年がベトナム：ホーチミン。昨年が、マレーシア：クアラルンプール。

訪問先国の選定には、今年は非常に苦労した。何故なら、アジア圏では渡航勧告が発出されている国ばかりだったからだ。

海外ミッションを設営するにあたり、毎年一番大事にしているのが、「安全」「安心」この二つ。今回ベトナムを選んだ理由は、共産圏なのだが治安が良いというのが一番の理由。一昨年は商業の中心「ホーチミン」を訪れたが、国の政治の中心である、「ハノイ」も見てみたいとの思いが強かった。さらに、過去2年は日系企業の現地法人を視察させていただいているが、現地の国営企業は見えていないということもあり、是非とも国営企業の見学をしたいとの思いからハノイに決定した。

国営企業の見学は、ベトナム商工会議所なる組織に申込をするのが一番良いのだが、話を進めていくうちに、体の具合が悪くなってきた(正確には胃痛です、穴が開いたかも。)今回のミッションの目的が「共産圏の国営企業視察研修」を第一に掲げていた為、もしも見学が出来ないなんてことにでもなったら・・・・・・・・。

ベトナム商工会議所の東京オフィスの女性曰く、

女性・「見学受け入れの企業は、どの職種をお望みでしょうか？」

久米・「特に希望は無いのですが、製造業の工場を希望します。」

女性・「では、ハノイの本部に書類を上げます。その後、本部で審議し、どの企業に受け入れさせるか回答が入りますので暫くお待ちいただくこととなります。受け入れる企業は真剣に皆様をお迎えしますが、それなりに直接的なメリットはありますでしょうか？企業提携や現地進出などの。」

久米・「うーん・・・・・・・・。」

正直、即答出来なかった。

そんなこんなで、ベトナム商工会議所は間に入れず、現地旅行会社を間に入れてアプローチすることに変更。結果、THANG LONG METALWARES社様を今回見学できることになった、現地旅行会社も相当に苦労をしたみたいだった。・・・感謝・・・。

実は当初の予定では、ハノイのみの4日間のつもりであったのだが、直行便を利用すると2泊4日の行程になってしまう。過去2回の参加メンバーから、「経路便を利用してでも、現地に3泊できないか？」とのリクエストも有り、行程の作り直しを試みたところ、香港経由でなら可能だった。で、少し考えてみた。どうせなら、香港に1泊し5日間の日程で設営できないだろうか。結果、二つのプランが完成した。ハノイのみの4日間コースと、香港をプラスした5日間コース。どちらにするかは参加希望者に聞くしかないということで、二つのコースを上程したところ、9名中8名が5日間コースをチョイスした。

結果、5日間コースで8名、4日間コース1名(馬場会長)でスタートすることになったわけだが、馬場会長は当初、参加する気は無かったようだった。理事会の後、しんむで飲んでいる時に、その場にいた皆が凍りつく衝撃の一言が・・・・・・・・

馬場・「ベトナムだけどさあ、俺は行かなくてもいいんだよねー」

長沼・久米・荻野・猪股・その他大勢「ありえねー！」

ということで、参加いただくことになりました。馬場会長、お忙しいなか御参加賜りまして、本当に有難う御座いました。

さて、参加者も確定し、あとは説明会をして出発の日を待つのみ。ところが、出発の2週間前位になってから参加予定だった日向氏から、「仕事の関係でどうしても7/5には出発できない」とのご連絡。詳しく聞くと7/7 出発なら行けると。

7日出発の9日帰りの2泊3日？うーん・・・！飛行機が取れば成立するけど・・・ベトナム1泊・香港1泊の2泊3日かあ。それって、どうよ？

久米・「本当に行くの？」

日向・「うん。行くよー。」

行くんだあ。まあ、本人がそう言ってる以上手配しなければ・・・・・・・・

それからが大変でした。成田⇒香港。香港⇒ハノイ。ハノイ⇒香港。香港⇒成田。

この4区間のうち、ハノイ～香港の区間が取れず、結局OKが出たのが7/2でした。

日向氏は、行けるのかどうか、確定していない状況のなか、説明会にも参加いただきましたが、成立しなかつた場合、お留守番してもらおうとこでした。

今回の海外視察研修団のメンバー構成は以下のように

| | | | |
|-----|----|----|-----|
| 会長 | 馬場 | 利典 | 初参加 |
| 顧問 | 平田 | 育士 | 3回目 |
| 副会長 | 長沼 | 浩 | 〃 |
| 〃 | 荻野 | 佳明 | 〃 |
| 理事 | 大石 | 健一 | 〃 |
| 〃 | 久米 | 陽 | 〃 |
| 〃 | 猪股 | 勝也 | 2回目 |
| 委員 | 日向 | 貴一 | 3回目 |
| 〃 | 藤島 | 康生 | 初参加 |

以上9名で確定。

非常に残念だったのは、事務局員随行が認められなかったことだ。確かに、現地に行けばよく飲み、街を徘徊し、それなりに楽しんできてはいたが、得るものも十分にあったと、思っている。親会としてはこれから先、非常にお金がかかり少しでも予算を削減してとの考えも理解はできるのだが。海外に出て、見て、感じて、・・・得がたい経験だと思う。次回実施の際には、是非とも考慮いただきたい。と、長沼副会長が申しておりました。

と、まあ出発までに、いろいろなことがありましたが、何とかかなりました。

これからがレポート（旅日記）のスタートですが、もう十分でしょう。

楽しい海外視察研修旅行でした。

以上。

～7/4 前泊～

毎度のことだが、何故か前泊をする。今回は参加者がほぼ皆、前泊をチョイスだった。若干1名を除き。

いつものように所沢駅発 19:30 の空港連絡バスをチョイスしておいて、19:00 頃の集合時間を待つだけ。

14:41 分、突然メールが。大石健一氏だ。まさか、キャンセルかあ？内容は・・・

「私も前泊したい！」

何を今頃。そりゃあ言われりゃ手配しますよ。でもね、あと1日早く言って。

ということで、参加者全員が前泊することに・・・。

当然、前夜祭でしょう。ホテルの上階にあるラウンジで軽く飲んで、明日も早いので早く寝ればいいのに、結局ラーメン食べて・・・。就寝。

～7/5 出発～

今回の旅行は、現地ベトナムで3泊、帰りがけ香港で1泊の4泊5日。本当は直行便を使いたいところなのだが（何をするかわからない方が若干名いるので、一度飛行機に乗ってしまえば到着のパターンが望ましかった）現地を夜発になってしまう為、1泊損をするような感じになってしまう。ので、香港での経由便をチョイスし、且つ、香港にも泊まってしまおうということになった。

～成田空港・出国～

皆海外旅行は経験豊富で、初参加の藤島氏も渡航経験は豊富とのこと。過去2回の旅行では、何かと話題を提供いただいた先輩ももう大丈夫。

何も問題なく出発できました。キャセイの 509 便（9:45 発）

～トランジット～

今回は香港で乗換の為、行方不明者を出さないようにしなくては・・・。いらん心配でした。よく考えたら一昨年も香港トランジットだったし。

全く問題なく乗換できました。キャセイの 791 便（14:55 発）

～ベトナム・入国～

入国審査も問題なし。無事入国。（何か物足りない、と思っていたのは僕だけでしょうか？）誰か、話題を提供してくれ！

まあ、無事到着したのだからいいか。とりあず禁煙地獄からも開放され、早速一服。

今回喫煙者が5名（平田・荻野・猪股・日向・久米）、吸わない方が4名（馬場・長沼・大石・藤島）パワーバランスでは優位にあったので、旅行中、度々一服タイムでお待たせをいたしました。申し訳ありませんでした。

とにかく、現地ガイドと合流し早速街中へ、20人乗り位のマイクロバスでした。人数も少なかったので非常にゆったり乗れました。



到着が、夕刻で空港でのたのたしていたので、夕食をとってチェックインとなった。

やはり、飲む。

ベトナム料理は、香菜が入っているので苦手な方には、ちょっとつらいかも。僕も得意ではないが、すぐ慣れた。職業柄、好き嫌いは言ってもらえない。

さて、ハノイの街はどうか？

ホーチミンに比べ、交通量は少ない。車の中からの感じだと街全体の「活気」もホーチミンほどはないように感じた。

町中いたるところで、露店が出ていたホーチミンに比べ、ハノイの方が整然としていたようなイメージが残っている。

政治の中心の「ハノイ」

経済の中心の「ホーチミン」 なるほど・・・。



さて今回の我らの活動拠点となるホテルだが、5星のホテルである。

毎回このクラスをチョイスしているが、細かなトラブルを背負い込みたくないからなのだ。

ただ、共産圏に於いての5星が、本当にそうなのかというと、少し疑問もある。が、今回も及第点は出せるようである。普段から一流ホテルにしか宿泊したことがないメンバー諸氏からのクレームは、無かったので。よしよし。

朝も早く、時差（2時間）もあり、神経も使った？ので、今日は早めに就寝。

のつもりだったが、早速夜の散歩が始まった。といっても、ホテルの周りを少し散策した程度で終了。

長い長い1日お疲れ様でした。zzzzz。

～7/6 視察研修～

予定では、午前中から視察をすることになっていたのだが、出発前に先方から時間の変更を連絡されていた。午後 14:00 へ変更となっていた。

午後見学予定だった、市内見学と入れ替えることに。



ホーチミン廟・一柱寺・文廟など、ハノイを代表する観光地である。

印象に残っているのは、やはりホーチミン廟だ。今も遺体が安置されており、警備員が昼夜常駐している。

ベトナム解放の立役者は、神格化していた。



さて、昼食を済ませ、いよいよ今回の主目的である視察研修の時間だ。

今回見学を受け入れていただいた、「タンロン・メタル社」だが、ハノイに本社を置き、ホーチミンに支社を置く、従業員 2,700 人の国営企業である。1969 年創業、売上高は約 3,800 万ドル。4つの工場での生産品目は、鍋、ランプ、オイルストーブ、フライパン、スプーンなどの金属加工物（主に生活用品）と、日本の HONDA との合弁会社で作成する

オートバイ部品（主にマフラー）などだ。その製品の大半はヨーロッパ（スウェーデン）とのこと。日本にはないらしい。が、売上の 40% は HONDA との合弁会社が出し、かつ毎年 20% の伸びを記録しているらしい。

さて、気になる給与だが、月約 100 ドル日給にすると 4 ドルだそうだ。

労働環境は日本を基準にかんがえれば、劣悪と言っても過言ではない。



そんな環境でも、現場の人達は勤勉に勤めていた。単一民族のまじめな国民性が感じられた。だが、非常に気になることが・・・。
原材料は主に韓国から、輸入関税 10%で入る。諸々の諸経費をかけて、売上は 3,800 万 \$。いったい、いくら儲けてんだよ。先進国が後進国へ進出した時に必ず「搾取」という表現を使われてきたわけだが・・・。



まあ、国としての GDP も毎年 UP しているわけだし、よしとしましょう。さしあたって今回の研修も受け入れていただいたのですし。最後に、副社長と記念撮影をして、お別れをしました。工場を出てバスまで歩いて戻ったのですが、途中にこの工場の直売所らしきものを発見。オイルランプが 300 円位で売られており、買ったかったのだが、バスがもう止まっていられないと言われ、泣く泣く諦めたのが、唯一の心残りでした。

タン・ロン・メタル社様 有難う御座いました。今後、貴社製品が日本の売場にあるのを見かけたら、必ず大人買いをさせていただきます。お世話になりました。

無事研修も終了し、午後の少しあいた時間を利用して市場調査へ行きました。けっして土産の買物ではありません。とにかく、煩雑、雑多。東南アジア特有の雰囲気。物価そのものとはにかく安い、日本の 15%位の感じだった。



メンバーの皆さんも、満足のいく市場調査だったのではないのでしょうか。

～7/7 観光～

朝、6:00 集合。「梶谷ツアー」継続中。実は昨日もあったのだが、特に印象に残って

なかったので、書かなかったのだが・・・。

今朝はハノイ庶民に混じり「フォー」を食べてみた。昨日下見をした店で。

うーん結構好き！たしか、馬場さん、荻野さん、平田さん、久米の4人だったと記憶しているのだが、確認の画像が無い。撮ってなかったみたい。やはりパクチーてんこ盛り。

気になるが、僕は大丈夫。パクチー苦手な方は抜きで注文しましたが、やはり入ってないと「フォー」じゃないね。ふん。

馬場会長、御馳走様でした。でも、ちょこっと、ぼられてました。



【作業現場】

さて今日は陶器の町「バッチャン」と世界自然遺産「ハロン湾」を訪れる予定です。バッチャンは本当に陶器の店（製造直売）しかありません。製造現場を見て回ると自然と売店へ。

しかし、メンバーの方々は、全く興味なし。早々に出発し、ハロン湾へ行くことにしました。

高速道路で移動だったのですが、路面の状態は最悪でした。途中、トイレ休憩で高速道直結の売店へ立ち寄りました。

枯葉剤の影響で、四肢に不自由な子供達が自立できるようにと国が造った売店？でした。実際そこでは子供達が作業をし、寝食をする寮もありました。

製品はそのお店で販売をしており、他の売店より多少安いとのことでした。

メンバーの大人買いが炸裂したのは言うまでもありません。

なんといっても、売り子さん達（若いきれいなお姉さん）の売込みが上手でした。脱帽でした。



【寄付するメンバー】

ちょっと驚いたのは、欧米系（特にアメリカ）の観光客が多かったことです。

～世界自然遺産 ハロン湾～



日本の「松島」をダイナミックにしたような感じだった。

遊覧しながら、食事を取るのがオーソドックスな観光の仕方。

今回は48人乗りの船を8名で貸切。

ちょびっとリッチな気分でした。

観光船は500隻もあるらしく、世界中から観光客がくるとのこと。



遊覧時間は食事の時間も合わせ約2時間。食事内容は海鮮ベトナム料理？だったかな。味はまあまあでした。皆食べれていたような。途中、水上生活者の店に立ち寄り、ハロン湾の名物の「シャコ」を購入。1匹2ドルを32匹購入。自分たちの乗ってきた船で調理してもらい食べたが、美味かったです。はい。僕は。

【1匹2ドルのシャコ】



【船の中はこんな感じ】



右の写真は何を覗き込んでるかというと、なんと、天然のカブトガニを解体していたのです。

日本ではレッドデータブックにも載ってる絶滅危惧種に指定をされているのだが、こっちは食べるんだ。

聞いたら、抜群に美味いと言っていました。

買ってよかったかな、1匹600ドル。

ハロン湾観光も無事終了。ハノイ市内へ戻り夕食です。そうです、今日は遅れて到着



する日向氏との合流があったのです。一応、今朝日向さんへは電話を入れてあったので心配はしてなかったのですが、やはり顔を見るまで安心できません。はたして、食事場所にて無事合流できました。メンバー一同大盛り上がりでした。前日は伊香保温泉で宴会の司会をし、早朝まだ日も上がらぬ前に宿を出発し、成田から【ベトナムフレンチ店にて日向氏合流】香港経由でハノイへ。明日は香港へ泊まり、明後日は日本へ。うーん、付き合い良すぎ。感謝！感謝！感謝！です。残り3日間、大いに楽しみましょう。ベトナムフレンチの食事の後、夜のハノイを散策し、その日は就寝。

～7/8 ベトナム・香港～

いよいよベトナムを離れる日です。恒例の梶谷ツアーは今朝はなしです。朝食後ロビー集合、空港へ。出国審査を受け、後は飛行機に乗るだけ。喫煙所で一服しているとこへ、某顧問が、青い顔をして僕にいうんです。ぼそぼそと。僕はドキドキです。「さっき買った土産がない」と。とりあえず買ったお店を確認したところ、店の人がしまっておいてくれたので、無事持ち主にもどりましたが、ネタ提供誠にありがとうございます。



【唯一の全員集合写真】香港の空港にて、何かやってくれないと、盛り上がりませんから。

～ 香港 ～

香港にて馬場会長が離団。唯一の全員集合写真を空港内にて撮影。会長むりやり強引につき合わせてしまい、本当に申し訳ありませんでした。明日は仕事だそうで、お忙しい中本当にありがとうございました。後日聞いた話では結局翌日はなんかの会議？に出るはめになり、全然仕事が出来なかったそうで、香港に泊まっても一緒？でした？。お疲れ様でした。

さて、馬場会長と別れた我々一行は現地ガイドと合流し、軽く観光してから食事場所へと向う（香港と言えば JUMBO）。そう、あの船上レストラン。香港に来たら必ずや行くだろう食事場所である。



車中からの景色だが、東京よりもはるかに高層化された街並。整備された都市空間。やはり香港は東南アジアの中でも、突き抜けている。中国の中での特区なのだが、以前訪れた時よりもまたさらに進化していると感じた。



ベトナムの後に、この大都市を見るのは悪くない。ホッとしたのは僕だけだろうかやはり、セブンイレブンがあったからなのだろうか。1日1回は入らないと落ち着かない。ジャンボで食事後、100万\$の夜景を見物しにビクトリアピークへ上がる。正直久しぶりに感動した。とても夜景が美しかった。景色を見て感動するなんて何年ぶりだろう。帰路はピークトラムという乗り物に乗る予定だったのだが、日曜日の為長蛇の列だった。1時間以上待つようになるとのことだったので、諦めてバスでホテルへ。なにせ香港は1泊しかしないわけで、とにかく忙しい。夜の街へも行かなくてはならない

し、飲まなきゃならないし、時間が足りない！っていう方ばかり。僕は、夕食時に十分飲んだし、眠いし、疲れたし、早々に就寝してしまいました。が、翌日2時まで徘徊していたというメンバーの話を聞き、ちょっと損した気分でした。そういう楽しい時間に自分がその場になかった、なんて……。

～7/9 最終日～

早朝、散歩に出かけた記憶が、あるんだか、ないんだか。よく覚えてない。午前中少し観光をして、宝石店、DFSに立ち寄り空港へ。フライトはキャセイ500便。15:00発の飛行機だ。宝石店とDFSで最後の買物をした方々が、空港に着いてバスを降りた瞬間、変な動きを。

一生懸命、お土産を預け入れのバッグに押し込んでいるのである。そんなこと空港入口でしてるのは、君達だけだよ。

出国審査も何も問題なく、搭乗口でも問題なし。
フライトも順調、まったくもって平穩無事でした。 感謝！



～ 入国 ～

提出用の書類も完璧、何も問題なく入国。後はチャーターしているバスに乗り込み、酒々井Pでそばを食べ、所沢へ向けて帰るのみ。車内で軽く飲みながら、この5日間の出来事に花を咲かせ、大いに盛り上がりながら帰ってきました。
所沢市内数ヶ所で皆様を降ろし、自宅に着いたのは、やはり、翌日でした。
僕は前泊も含めると、7日間も費やしておりました。疲れるわけです。
でも、事故無く、怪我無く、無事帰国出来たのは、皆様のご協力の賜物です。
ありがとうございました。

最後に今回の海外視察研修旅行実施に際して、ご協力を賜りました皆様へ感謝申し上げますと共に、この企画を青年部事業と承認いただきました、所沢商工会議所様へ厚く御礼申し上げます。
さらに、ご参加いただきましたメンバー諸氏へ感謝し、報告書（旅日記の提出）とさせていただきます。

KKK 久米